伽藍岳＆伽藍岳西峰

大分県　由布市湯布院町　　2025年　5月14日

鶴見岳と由布岳を望む絶景の山

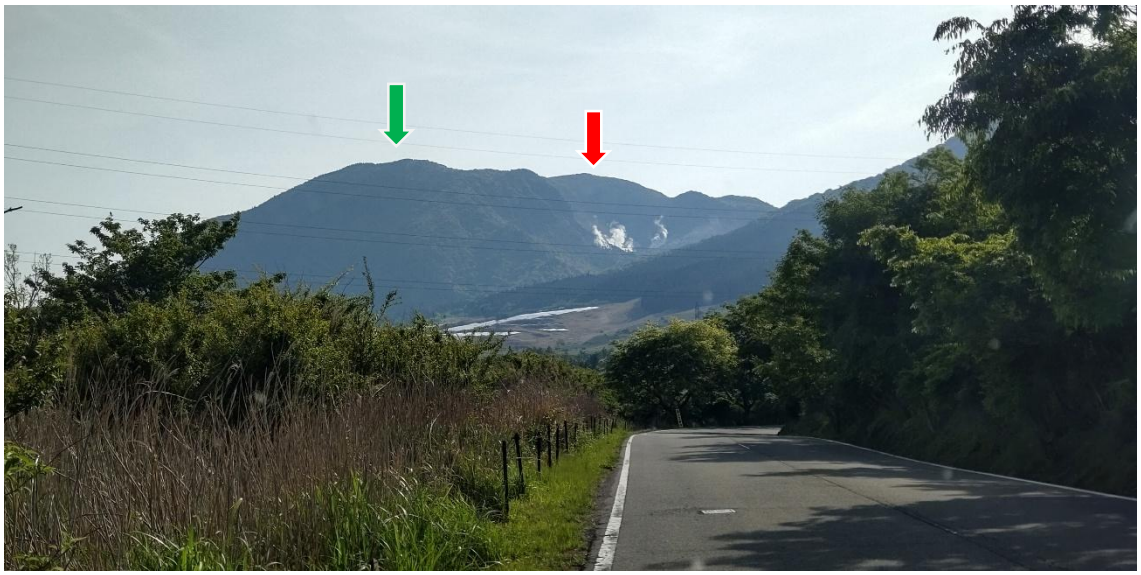
山頂にはミヤマキリシマが点在していた。荒々しい由布岳の姿が印象的。

本日のコース　＜全行程　4時間07分＞

塚原温泉登山口　8:18　→　一刀塚（一刀岩）　8:51　→　塚原越え　8:59　→
別府湾展望広場への分岐　9:33　→　伽藍岳と伽藍岳西峰の分岐　9:34　→
伽藍岳山頂　9:35　→　伽藍の窓　9:59　→　伽藍の槍　10:06　→　伽藍岳西峰　10:20　→
伽藍岳（2回目登頂）　10:55　＜昼食＞　11:22　→　別府湾展望広場への分岐　11:23　→
別府湾展望広場　11:29　→　塚原越え　11:59　→　塚原温泉登山口　12:25

8ヶ月ぶりの他県遠征登山。取り付きは塚原温泉登山口からとなる。伽藍岳は活火山で、遠くから見ても山肌から噴煙が立ち昇るのが確認できた。「あの山か～」とちょっと不安。
最初はザラザラした林道を荒涼たる景色を見ながら進むが、途中からは本格的な黒土の登山道。ミヤマキリシマが沿道に咲き、楽しみながら歩くことが出来た。

早朝6時15分に北九州市を出発！　大分自動車道のスマートインターチェンジがある「由布岳パーキング」から降りて、登山口のある塚原温泉を目指した。



噴煙が見える正面の山が伽藍岳と伽藍岳西峰だ！今日はあの稜線を歩くことになる。
伽藍岳の別名は硫黄岳。活火山なので少し緊張する。

この山腹に位置する塚原温泉には強酸性泉の「火口乃泉」がある。歴史は古く、平安時代の豪傑・源為朝が、傷ついた鹿が湯に浸かって癒すのを見て開湯したと言われています。800 年前から湧き続ける湯は、活火山である伽藍岳（がらんだけ）中腹にある泥火口で自噴する源泉を利用しており、100%かけ流しの天然温泉となっています。（ネット調べ）

10数台停められる駐車スペースはガラ～ンだった。（笑）　8時10分　先着車は1台
北九州市から2時間弱で到着した。
早速登山靴に履き替えて、日焼け止めでお肌をガード。

塚原温泉登山口　8:18　駐車スペースの前にある登山口から噴煙が見えている

分岐に差し掛かるが、噴煙立ち昇る地獄方面は立入禁止！　8:29

荒涼とした火山を横目に見ながら林道を進む　8:32

ザラザラした歩きにくい林道

（不満に思って歩いていると、下山時に不覚にもズルっと滑って尻もち着いてしまった！）

この林道、下山時は要注意です！

一刀塚(一刀岩)　8:51

源為朝が試し切りしたと書いてあるが･･･そもそも為朝って誰？

調べてみると･･･

源　為朝は、平安時代末期の武将。源為義の八男。母は摂津国江口の遊女。源頼朝、義経兄弟の叔父にあたる。『保元物語』によると、身長 2m を超える巨体のうえ気性が荒く、また剛弓の使い手で、剛勇無双を謳われた。生まれつき乱暴者で父の為義に持てあまされ、九州に追放されたが手下を集めて暴れまわり、一帯を制覇して鎮西八郎を名乗る。保元の乱では父とともに崇徳上皇方に参加し、強弓と特製の太矢で大奮戦するが敗れ、伊豆大島へ流される。しかしそこでも国司に従わず、大暴れして伊豆諸島を事実上支配したことから、追討を受け自害した。

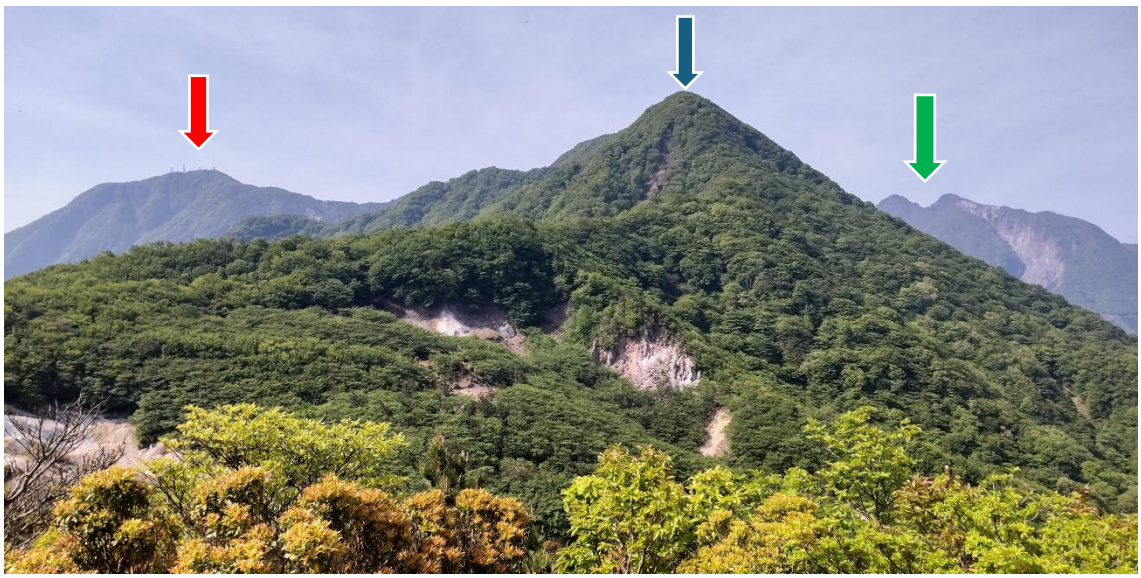
とのことだった。(ネット調べ)

塚原越え　8:59

この塚原越えは五差路になっている。

伽藍岳は左へ。硫黄の臭いも強くなってきた。右の内山方面は鶴見岳まで続いていて、伽藍岳～鶴見岳までの縦走コースは近年、別府アルプスと呼ばれているらしい。歩いてみたいが、残念ながらその体力はもうないだろう。

時折現れるミヤマキリシマが疲れた足を応援してくれる



小休止して振り返ると手前の内山の左に鶴見岳、右奥に由布岳が見えている。

さあいよいよ本格的な登山道　9:28

スタートしてここまで1時間10分。ずっとザラザラした林道を歩いてきたのでちょっと嬉しい。

人吉カメさんの「山頂まで5分」のプレートが嬉しい

馬酔木(アセビ)のトンネルを快調に進むと･･･

別府湾展望広場への分岐　9:33　足下の小さな表示が目についた
ミヤマキリシマの群生地と聞けば行きたくなる･･･帰りに寄ってみることにした

伽藍岳と伽藍岳西峰の分岐　9:34　先ずは伽藍岳へ！

伽藍岳山頂　9:35　1045mの標高からのんびり景色を楽しむ

山頂碑と共にT師匠

黄砂で霞んでいるが、別府湾や高崎山も確認できる。

次は伽藍岳から伽藍岳西峰に向かう　9:51　アセビの群落を縫って歩く

とても景色がいいので、T師匠に振り返ってもらいました　9:51
馬酔木(アセビ)の新緑が、太陽光に映えてとても綺麗だった
バックの景色も最高！

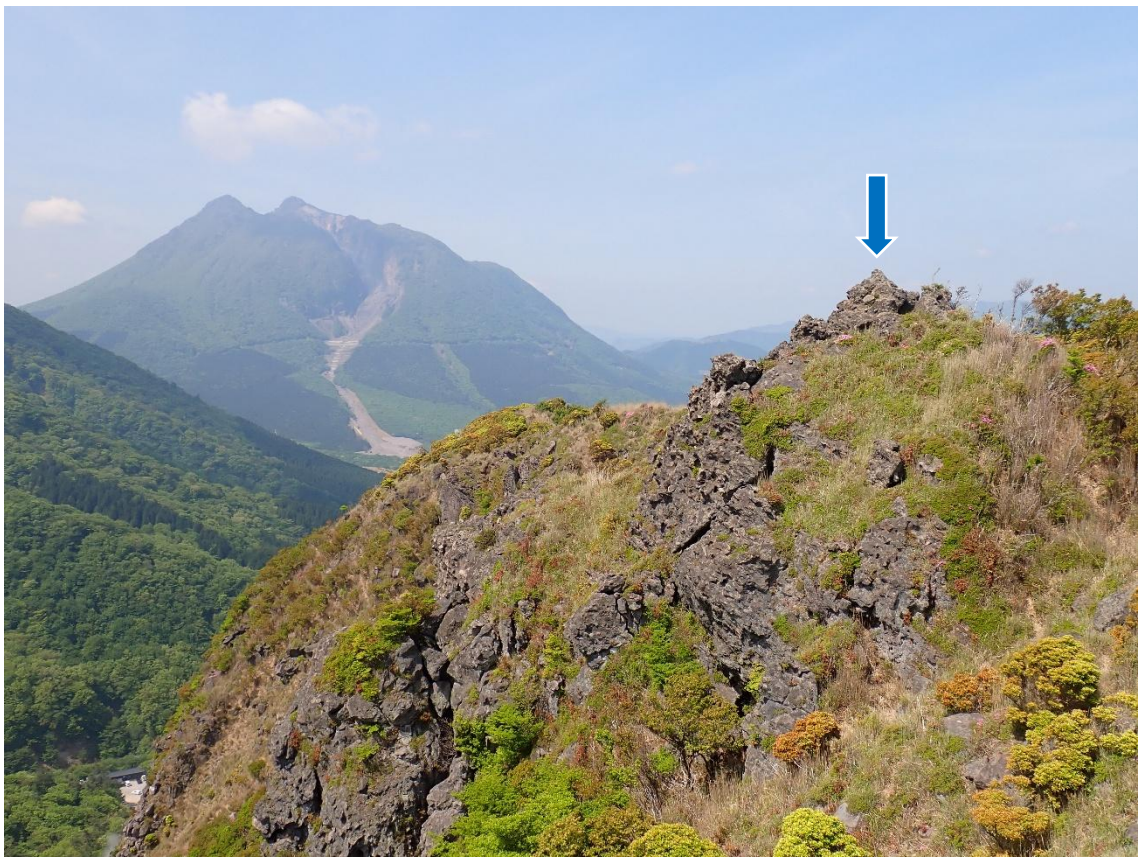
伽藍の窓　9:59

くじゅう連山の星生山にある「くじゅうの窓」みたいだ！

くじゅうの窓を覗くと扇ヶ鼻が見えるが･･･さて伽藍の窓は何が見えるのだろう？

と思ったら、手前に標識説明があった。

裏から覗くと･･･高崎山が見えました



由布岳と「伽藍の槍」　10:03　あの槍のテッペンに立ってみたいな～

稜線から真下を見ると噴火口　10:04　絶景だけどちょっと怖い

こんな感じで歩いています　10:04　ハート型と言われる噴火口だが少し歪んで見えた
有料だが火口見学も出来るらしい

伽藍の槍　10:06

登山道を歩いて行くと「伽藍の槍」に到着！
説明標識を見ると「登れます」と書いてあったので、恐る恐る挑戦！
「案ずるより産むがやすし」ゆっくり登るとそれほど難しくなかった。
テッペンに立ってバンザイ！証拠写真を撮ってもらった。
これで、「俺は槍に登ったことがあるぞ」と自慢できるかな？（笑）

伽藍岳は登山道上に所々見どころがあり、楽しませてくれる。

「伽藍の槍」を後にして次はなだらから草原歩き。この先の伽藍岳西峰を目指す！　10:11

草原を上りきった付近に小さな標識　10:15　ヒノキ林に向う
高齢者も頑張ります！

背の低いヒノキ林に突入　10:16　林の中は意外と暗い
ピンクテープを辿って進む

岩峰が見えてきた　10:17

伽藍岳西峰　10:20　1014m　ここから見る景色も絶景

由布岳をバックに記念写真　10:27　小型犬を連れた登山者に撮ってもらいました
さあ、再度「伽藍岳」へ戻ってランチにしよう！　今歩いてきた道を戻ることにした。

約30分で伽藍岳へ戻ってきた！

伽藍岳（2回目登頂）10:55　＜昼食＞　11:22
他の登山者も何組か登ってきている

昼食を済ませて元気回復、下山開始

別府湾展望広場への分岐　11:23　往復 10 分なので行ってみることにした

別府湾展望広場　11:29　別府湾と高崎山･･･霞んでる
ミヤマキリシマの咲き具合はイマイチだったが、ウグイスの鳴き声は最高！

綺麗に咲いている株もある　11:33

鶴見岳を正面に見ながら登山道を下る　11:41

塚原越え　11:59　　右へ下る

塚原温泉登山口　　12:25　　ゴール！

4時間07分の山歩きが無事に終了
ニューピーク2座に登頂して大満足！
スマホの歩数計は11086歩。T師匠お世話になりました。
お疲れさまでした。